

藝園草牧

第十卷・第十一号

昭和三十一年十一月一日(毎月一回)日

夕張郡浸漕町字幌内一〇六六
雪印種苗株式会社
中央研究農場



雪印種苗株式会社

雪印が
お奨めする

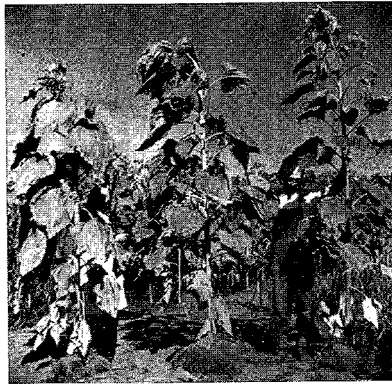
育成選抜品種の解説 青刈用 大葉多葉性ひまわり

(一) 育成の目的

短期間に旺盛な生育を行ない、栽培容易な青刈用ひまわりを更に茎葉部収量特に蛋白質含量の高い葉部収量の多いものに改良しようとして、伸長型で大葉多葉性の品種を育成しようとした。

(二) 育成経過

育成品種大葉多葉性ひまわりは昭和二十八年より上野幌育種場において子実用品種として在来化されていたラーシアン(灰色に黒縞の種子)を母とし、農業技術研



右 農研多葉性ひまわり
中 大葉多葉性ひまわり
左 ラーシアン

究所(千葉畜試)で育成された多葉性ひまわりを父として交雑を行ない、その後代から十数個の大葉(ラーシアン程度の大葉)多葉性(農研多葉性ひまわり程度)個体の選抜を得たので、これを隔離圃場

に集団栽培し爾後残種法(renant method)によって選抜淘汰を重ね、ラーシアンに比し葉数で約四五%、葉大ではほぼ等しいものを得たので、大葉多葉性ひまわりと命名、昭和三十四年より発売を開始した。

しかし本品種の改良は所謂累積効果を期待したもので、その後も原々種段階において特性維持のための連続選択が行なわれています。

(三) 特性概要(表参照)

青刈用品種として育成した大葉多葉性ひまわりは従来青刈用として用いられていたラーシアンに比して四五割程度葉数が多く、しかも葉もラーシアン程度の大きさで、草丈は五〇センチ

程度で、草丈は五〇センチ程度

度長く、約一週間の晩生で収量は総量で約五割、葉量では約八割増の優良品種であります。

(四) 利用上の注意

青刈用ひまわりは集約的には青刈多毛作の中に組入れて単作されますが、多くの場合はデントコーンの欠株補播用として用いられます。

(1) 補播の場合

大葉多葉性ひまわりはラーシアンに比し約一週間の晩生種ですから、サイレージ用デントコーンの欠株に補播するときは一番除草当時に播種しますと丁度デントコーン刈取り時に開花三分咲程度となり、活葉数の多い時期に刈取りが出来ます。(播種後一〇〇日程度で開花始となります)

(2) 単播の場合

早春播種して夏の青刈り、また夏まきで秋の青刈りも有利ですが、この場合は畦幅大葉多葉性ひまわり特性概要表



デントコーンの欠株に補播した大葉多葉性ひまわりの生育状況 (刈取適期)

品種系統名	生育並びに		特性調査		収量調査(一〇㎡当)	
	月日	草丈	葉数	葉長	生育相	総量
ラーシアン	八・一	八三	五二	四・九	開花期	六・七
多葉性ひまわり	八・九	八三	五二	四・九	開花期	六・七
大葉多葉性ひまわり	八・五	八三	五二	四・九	開花期	六・七

耕種概要 播種期五月一〇日、畦幅八三センチ、株間六六センチ、一本立 施肥量(一〇アール当 キロ) 硫酸八、過石三、塩加一六、尿素四、燐りん八

五〇センチ、株間一〇センチ程度の密植栽培(二〇〇アール当)が多収を得られ、春まきでは播種後一〇〇日、夏まきでは八〇日以内で開花始となり刈取りが出来ます。